

平成 25 年度 事業計画

(自平成 25 年 4 月 1 日～至平成 26 年 3 月 31 日)

まえがき

政府は重点施策として経済再生をかかげており、強力な経済・産業政策の推進が期待されるが、電力関連分野の産業界への東日本大震災の影響は大きく、電気学会を取り巻く事業環境は長期にわたり厳しさを余儀なくされるものと思われる。

その一方で、持続可能なエネルギー環境の実現に向けてのスマートコミュニティや、インフラシステムの整備などグローバルなレベルにおいて電気関連分野の貢献と先導的かつ積極的な展開が待たれるものと考えられる。

このような中、電気学会は創立 125 周年を迎え、記念式典や出版をはじめとする記念事業を着実に実施するとともに、中長期ビジョンに示す 7 つの基本政策に沿った事業を定款に基づき展開し、電気学術の発展に寄与し、社会に貢献し会員に対して快適な場を提供していくこととする。

電気学会の 7 つの基本政策は以下のとおりである。

1. 戦略的活動の推進

2. 社会のニーズに対応した情報発信
3. 国際化に向けた体制の強化
4. 将来を担う人材育成の強化
5. 学術的・人的資産の有効活用
6. 快適かつ効率的な手段や場の提供
7. 健全な組織運営基盤の再構築

特に、平成 25 年度は、一般社団法人への移行という事業環境を最大限生かしつつ、将来を見据えた財務体質改善検討と並行して、策定後 5 年を経過した中長期ビジョンの基本政策のレビューを行うとともに、電気技術を軸足に置き他学会との連携も進めながら、災害に強い、そして豊かな日本の実現に向けての貢献や、高齢化社会にマッチしたシニアパワーの活躍による学会活動の活性化等を目指し、より一層の活動の見える化と社会に対する発信力を強化していく。

平成 25 年度の事業計画を以下のとおりとする。

1. 会員に関する事項【定款第 3 章】

- (1) 平成 25 年度の会員数は、下表のように想定する。
- (2) 会員制度の充実と会員増加策

継続して個人会員・事業維持員の会員増員・退会防止策を展開する。

	名誉員 正 員	准員	学生員	計	事業維持員
24 年 度 末 会 員 数	19,458	287	3,054	22,799	424 社 (2,845 口)
入 会 ・ 復 会 予 定	934	19	1,621	2,574	7 社 (20 口)
種 別 変 更	正 ⇒ 学	-28	0	28	0
	准 ⇒ 正	100	-100	0	0
	准 ⇒ 学	0	-147	147	0
	学 ⇒ 正	673	0	-673	0
	学 ⇒ 准	0	314	-314	0
退 会 予 測	-2,117	-182	-322	-2,621	-29 社 (-37 口)
増 減	-438	-96	487	-47	-14 社 (-195 口)
25 年 度 末 会 員 数 (推 定)	19,020	191	3,541	22,752	410 社 (2,650 口)

2. 役員等に関する事項【定款第 3, 5 章】

アンダーラインで平成 25 年度新任の方を示す。

(1) 平成 25 年度本部役員

- 理 事 : 日高邦彦 (東京大学)
 同 : 生駒昌夫 (関西電力)
 同 : 塩原亮一 (日立製作所)
 同 : 竹内 昭 (中部電力)
 同 : 中川聡子 (東京都市大学)
 同 : 栗原郁夫 (電力中央研究所)

- 同 : 白銀隆之 (関西電力)
 同 : 西田直人 (東 芝)
 同 : 大崎博之 (東京大学)
 同 : 井上満夫 (三菱電機)
 同 : 酒井祐之 (電気学会)
 部門担当理事 (A 部門長): 新藤孝敏 (電力中央研究所)
 同 (B 部門長): 大山 力 (横浜国立大学)
 同 (C 部門長): 福本 亮 (東 芝)
 理 事 : 清水敏久 (首都大学東京)

部門担当理事 (E 部門長) : 庄子習一 (早稲田大学)

理事 : 真弓明彦 (北海道電力)

支部担当理事 (東北支部) : 矢萩保雄 (東北電力)

同 (東京支部) : 横山明彦 (東京大学)

同 (東海支部) : 石田篤志 (中部電力)

同 (北陸支部) : 作井正昭 (富山大学)

同 (関西支部) : 玉置 久 (神戸大学)

同 (中国支部) : 松岡秀夫 (中国電力)

同 (四国支部) : 山地幸司 (四国電力)

同 (九州支部) : 秋山秀典 (熊本大学)

監事 : 海田英俊 (富士電機)

同 : 吉迫 徹 (九州電力)

(2) 平成 25 年度部門役員

A 部門

部門長 : 新藤孝敏 (電力中央研究所)

編修長 : 小野 靖 (東京大学)

副部門長 : 匹田政幸 (九州工業大学)

同 : 小林金也 (日立製作所)

総務企画担当 : 田中俊哉 (ビスキャス)

同 : 加藤景三 (新潟大学)

会計担当 : 釣本崇夫 (三菱電機)

同 : 平野嘉彦 (東 芝)

編修担当 : 中野俊樹 (防衛大学校)

同 : 池畑 隆 (茨城大学)

研究経営担当 : 足立和郎 (電力中央研究所)

同 : 松下伸広 (東京工業大学)

監事 : 竹村泰司 (横浜国立大学)

同 : 佐藤敏郎 (信州大学)

B 部門

部門長 : 大山 力 (横浜国立大学)

副部門長 : 福井伸太 (三菱電機)

同 : 福井千尋 (日立製作所)

総務企画担当 : 中村 正 (東 芝)

同 : 大森荘司 (日立製作所)

会計担当 : 八木 学 (中部電力)

同 : 有本雅昭 (三菱電機)

編修担当 : 市川路晴 (電力中央研究所)

同 : 宮内 肇 (熊本大学)

研究経営担当 : 馬場吉弘 (同志社大学)

同 : 金森重晴 (富士電機)

広報・国際化担当 : 中野 茂 (電源開発)

同 : 田中 明 (明電舎)

監事 : 吉富慶司 (フジクラ)

同 : 藤岡直人 (関西電力)

C 部門

部門長 : 福本 亮 (東 芝)

次期部門長 : 宮崎道雄 (関東学院大学)

副部門長 : 福山良和 (富士電機)

同 : 高木茂孝 (東京工業大学)

総務企画担当 : 植田健司 (関西電力)

同 : 阿南泰三 (富士通研究所)

会計担当 : 佐藤浩二 (日本電気)

同 : 佐藤達広 (日立製作所)

編修担当 : 北山匡史 (三菱電機)

同 : 兵庫 明 (東京理科大学)

研究経営担当 : 大橋裕之 (東 芝)

同 : 泉 智紀 (東京電機大学)

広報・情報化担当 : 恩田寿和 (明電舎)

同 : 元木 誠 (関東学院大学)

監事 : 大場英二 (電力中央研究所)

同 : 染谷博司 (東海大学)

D 部門

部門長 : 通常総会後の理事会の決議による

編修長 : 森本雅之 (東海大学)

副部門長 : 大山和伸 (ダイキン工業)

同 : 村上俊之 (慶應義塾大学)

総務企画担当 : 藤田英明 (東京工業大学)

同 : 中沢洋介 (東 芝)

会計担当 : 川上紀子 (東芝三菱電機産業システム)

同 : 米谷晴之 (三菱電機)

編修広報担当 : 道木慎二 (名古屋大学)

同 : 松本 康 (富士電機)

研究経営担当 : 井出一正 (日立製作所)

同 : 柴田昌明 (成蹊大学)

国際担当 : 西田保幸 (千葉工業大学)

英文論文誌編修長 : 大石 潔 (長岡技術科学大学)

監事 : 藤田光悦 (富士電機)

同 : 山下隆司 (NTT ファシリティーズ総合研究所)

E 部門

部門長 : 庄子習一 (早稲田大学)

副部門長 : 宮原裕二 (東京医科歯科大学)

同 : 前中一介 (兵庫県立大学)

総務企画担当 : 山本貴富喜 (東京工業大学)

同 : 橋口 原 (静岡大学)

会計担当 : 三林浩二 (東京医科歯科大学)

同 : 佐藤文彦 (オムロン)

編修担当 : 秦 誠一 (東京工業大学)

同 : 池原 毅 (産業技術総合研究所)

研究経営担当 : 澤田和明 (豊橋技術科学大学)

同 : 町田克之 (NTT アドバンステクノロジー)

監事 : 田畑 修 (京都大学)

同 : 川原伸章 (デンソー)

(3) 平成 25 年度支部役員

△印は支所長を示す。

北海道支部

支 部 長 : 通常総会後の理事会の決議による

総務企画幹事：戸巻雄一（北海道電力）
同：原亮一（北海道大学）
会計幹事：石崎薫（北海道電力）
同：渡邊浩太（室蘭工業大学）
協議員：大場みち子（公立ほこだて未来大学）
同：小松正明（釧路工業高等専門学校）
酒井彰（室蘭工業大学）
鈴木寛治（電源開発）
土田徳造（北海道旅客鉄道）
槌本昌則（北海道工業大学）
坂井辰彦（新日鐵住金）
高橋理音（北見工業大学）
野口聡（北海道大学）
原田憲朗（北海道電力）
監事：竹本真紹（北海道大学）

東北支部

支部長：矢萩保雄（東北電力）
総務企画幹事：遠藤恭（東北大学）
同：布施隆志（東北電力）
会計幹事：三國俊晴（東北電力）
同：栢修一郎（東北大学）
協議員：阿部俊三（東北工業大学）
同：安藤晃（東北大学）
菅谷純一（仙台高等専門学校）
塚田英一（東北電力）
三浦直人（東北電力）
△道山哲幸（日本大学）
宮澤正樹（東北学院大学）
△向川政治（岩手大学）
池田正二（東北大学）
角田敦（東日本旅客鉄道）
△熊谷誠治（秋田大学）
佐藤正則（ユアテック）
△杉本俊之（山形大学）
△花田一磨（八戸工業大学）
監事：家名田敏昭（東北文化学園大学）

東京支部

支部長：横山明彦（東京大学）
総務企画幹事：太田浩（東京電力）
同：山本直幸（日立製作所）
会計幹事：渡辺隆夫（電力中央研究所）
同：渡邊政美（三菱電機）
協議員：△秋津哲也（山梨大学）
同：△池畑隆（茨城大学）
△石川赴夫（群馬大学）
伊藤徹（富士電機）
井通暁（東京大学）
植原弘明（関東学院大学）
△小椋一夫（新潟大学）

久保亮吾（慶應義塾大学）
坂本幸治（東京電力）
塚田路治（三菱電機）
野村京哉（電源開発）
△橋詰俊成（矢崎エナジーシステム）
林泰弘（早稲田大学）
林屋均（東日本旅客鉄道）
福本明宏（三菱電線工業）
枅川重男（東京電機大学）
宮路秀幸（東芝）
森瀬剛（日立製作所）
△大越昌幸（防衛大学校）
大谷哲夫（電力中央研究所）
大野勉（日本電気）
△岡本保（木更津工業高等専門学校）
奥井明伸（鉄道総合技術研究所）
小原学（明治大学）
金子晋久（産業技術総合研究所）
△佐久間洋志（宇都宮大学）
鈴木貞二（フジクラ）
竹内希（東京工業大学）
田中明（明電舎）
辻隆男（横浜国立大学）
難波雅之（東京電力）
西田保幸（千葉工業大学）
星野毅夫（新日鐵住金）
前田幹夫（工学院大学）
△松井章典（埼玉工業大学）

監事：亀田秀之（電力中央研究所）
同：渡辺能康（日立製作所）

東海支部

支部長：石田篤志（中部電力）
総務企画幹事：小島寛樹（名古屋大学）
同：小林亮治（中部電力）
会計幹事：川福基裕（大同大学）
同：吉田隆（名古屋大学）
協議員：小林浩（トーエネック）
同：神保睦子（大同大学）
野口季彦（静岡大学）
林朋宏（日本ガイシ）
東山雅一（東芝）
古橋武（名古屋大学）
吉田弘樹（岐阜大学）
有賀信雄（シンフォニアテクノロジー）
市川弥生次（中部電力）
大林和良（デンソー）
尾崎正則（三菱電機）
曾根原誠（信州大学）
滝川浩史（豊橋技術科学大学）

中井英雄（豊田中央研究所）
光本真一（豊田工業高等専門学校）
箕輪昌幸（愛知工業大学）
森田良文（名古屋工業大学）
米澤裕之（富士電機）

監 事：角 紳一（中部大学）

北陸支部

支 部 長：作井正昭（富山大学）
総務企画幹事：山岸良雄（北陸電力）
同：上野敏幸（金沢大学）
会計幹事：柳橋秀幸（金沢工業高等専門学校）
同：京極喜一郎（北陸電力）
協議員：王 栄龍（福井大学）
同：大坪 茂（石川工業高等専門学校）
川崎拓哉（北陸電力）
川本 昂（福井工業高等専門学校）
田中康規（金沢大学）
西 敏行（富山高等専門学校）
河辺賢一（富山大学）
高野浩一（北陸電力）
西田好宏（福井工業大学）
松本和憲（富山県立大学）
宮城克徳（金沢工業大学）
米澤出穂（関西電力）

監 事：田岡久雄（福井大学）

関西支部

支 部 長：玉置 久（神戸大学）
総務企画幹事：大森敏明（神戸大学）
同：矢野 徹（三菱電機）
会計幹事：浅利一成（関西電力）
同：大澤穂高（関西大学）
協議員：上田晃司（三菱電機）
同：上野秀樹（兵庫県立大学）
薄 良彦（京都大学）
瀬越忠男（パナソニック）
中西辰雄（住友電気工業）
服藤憲司（立命館大学）
見市知昭（大阪工業大学）
湯本真樹（近畿大学）
井上征則（大阪府立大学）
今北健二（神戸大学）
小田 昇（関西鉄道協会）
白土紀明（ダイヘン）
杉原英治（大阪大学）
多田充宏（関西電力）
津吉 彰（神戸市立工業高等専門学校）
中村悦章（西日本旅客鉄道）
長岡直人（同志社大学）
花澤昌彦（富士電機）

羽田儀宏（日新電機）

監 事：中村武恒（京都大学）

中国支部

支 部 長：松岡秀夫（中国電力）
総務企画幹事：西原 徹（中国電力）
同：造賀芳文（広島大学）
会計幹事：川本成志（中国電力）
同：永原勝典（エネルギー・ライフ&アクセス）
協議員：市野邦男（鳥取大学）
同：河内史和（東ソー）
佐々木豊（広島大学）
佐藤光廣（中国電機製造）
西尾公裕（津山工業高等専門学校）
日高良和（宇部工業高等専門学校）
箕田充志（松江工業高等専門学校）
栗田耕一（近畿大学）
堺 健司（岡山大学）
崎山智司（山口大学）
丸谷祐司（JFE スチール）

監 事：栗栖重久（中国電気保安協会）

四国支部

支 部 長：山地幸司（四国電力）
総務企画幹事：政岡喜美夫（四国電力）
同：星野孝総（高知工科大学）
会計幹事：馬場弘幸（四国電力）
同：本村英樹（愛媛大学）
協議員：井堀春生（愛媛大学）
同：加藤直亮（住友共同電力）
寺西研二（徳島大学）
藤村直人（四国総合研究所）
松本高志（阿南工業高等専門学校）
久保智裕（徳島大学）
下川房男（香川大学）
竹田史章（高知工科大学）
深澤裕一（四国電力）
松木寿夫（三菱電機）
弓達新治（愛媛大学）

監 事：下村直行（徳島大学）

九州支部

支 部 長：秋山秀典（熊本大学）
総務企画幹事：勝木 淳（熊本大学）
同：豊田和弘（九州工業大学）
会計幹事：福島 晋（九州電力）
同：中園耕一（九州電力）
協議員：猪原 哲（佐賀大学）
同：今坂公宣（九州産業大学）
大田一郎（熊本高等専門学校）
佐藤浩史（ニッテツ八幡エンジニアリング）
末廣純也（九州大学）

田邊 隆 (三菱重工業)
△玉城史朗 (琉球大学)
藤島友之 (長崎大学)
藤吉孝則 (熊本大学)
吉江 修 (早稲田大学)
脇本康夫 (東芝三菱電機産業システム)
青木振一 (崇城大学)
川越明史 (鹿児島大学)
北川二郎 (福岡工業大学)
白土竜一 (九州工業大学)
戸高 孝 (大分大学)
林 則行 (宮崎大学)
星野 悟 (安川電機)
松本洋和 (福岡大学)
監 事：阿辺政司 (九州電力)

(4) 平成 25 年度代議員 (99 名)

任期は平成 24 年 4 月 1 日～2 年後に実施される代議員選挙終了の時まで

小豆畑茂 (日立製作所)
阿部 健 (ダイヘン)
荒井純一 (工学院大学)
飯尾泰義 (東京電力)
飯田和生 (三重大学)
池田正二 (東北大学)
池田久利 (東京大学)
生駒昌夫 (関西電力)
石田篤志 (中部電力)
伊瀬敏史 (大阪大学)
磯嶋茂樹 (住友電気工業)
一枝圭祐 (三菱電機エンジニアリング)
臼田誠次郎 (日本工営)
歌谷昌弘 (広島国際学院大学)
海田英俊 (富士電機)
江川正尚 (電力系統利用協議会)
遠藤 恭 (東北大学)
大久保利一 (大分大学)
大久保仁 (愛知工業大学)
太田啓雅 (中部電力)
大西公平 (慶應義塾大学)
大山 力 (横浜国立大学)
岡本達希 (電力中央研究所)
荻原義也 (日新電機)
生越重章 (香川大学)
柁川一弘 (九州大学)
片岡和久 (東京電力)
門脇一則 (愛媛大学)
河崎善一郎 (大阪大学)
河村篤男 (横浜国立大学)

郭 其新 (佐賀大学)
工藤英明 (東北電力)
栗原郁夫 (電力中央研究所)
桑原 祐 (愛知電機)
小島寛樹 (名古屋大学)
齋藤涼夫 (東 芝)
柵山正樹 (三菱電機)
佐々木三郎 (電力中央研究所)
笹谷卓也 (デンソー)
佐藤浩史 (ニッテツ八幡エンジニアリング)
塩原亮一 (日立製作所)
渋谷義一 (芝浦工業大学)
島田敏男 (電気学会)
清水教之 (名城大学)
新藤孝敏 (電力中央研究所)
菅原洋一 (住友電工ウインテック)
杉山修一 (富士電機)
杉山博司 (明電舎)
鈴置保雄 (名古屋大学)
鈴木博章 (筑波大学)
薄田春樹 (エクシム)
曾根光男 (東海大学)
田井一郎 (東 芝)
高木 勲 (トーエネック)
高木茂孝 (東京工業大学)
瀧澤照廣 (日立パワーソリューションズ)
多久征吾 (東芝三菱電機産業システム)
竹内 昭 (中部電力)
田中秀治 (東北大学)
田中俊彦 (山口大学)
玉井伸三 (東芝三菱電機産業システム)
玉置 久 (神戸大学)
田村淳二 (北見工業大学)
土屋智由 (京都大学)
土井美和子 (東 芝)
中川聡子 (東京都市大学)
中田祐司 (日立製作所)
中谷義昭 (三菱電機)
中村秋夫 (関東電気保安協会)
中村一則 (古河電気工業)
仁井真介 (富士電機)
仁田旦三 (明星大学)
野田正信 (関西電力)
野村喜久 (四国電力)
林 洋一 (青山学院大学)
原 亮一 (北海道大学)
原口芳徳 (ティー・オー・エス)
樋口祐治 (東北電力)
日高邦彦 (東京大学)

福田 隆 (関西電力)
福本 亮 (東 芝)
船曳繁之 (岡山大学)
堀 洋一 (東京大学)
松岡秀夫 (中国電力)
松木英敏 (東北大学)
松瀬貢規 (明治大学)
松本佳宣 (慶應義塾大学)
茂呂征一郎 (福井大学)
柳橋秀幸 (金沢工業高等専門学校)
山岸良雄 (北陸電力)
山極時生 (日立製作所)
山口 博 (東京電力)
山田 浩 (富士通研究所)
山本吉朗 (鹿児島大学)
湯本雅恵 (東京都市大学)
横田岳志 (東 芝)
横山明彦 (東京大学)
吉江 修 (早稲田大学)
吉本浩昌 (北海道電力)

(5) 平成 25 年度有識者会議委員 (71 名)

本部代表：池田久利 (東京大学)

同 一 枝圭祐 (三菱電機エンジニアリング)

大久保仁 (名古屋大学)
大西公平 (慶應義塾大学)
岡本達希 (電力中央研究所)
柵山正樹 (三菱電機)
田井一郎 (東 芝)
高木 勲 (トーエネック)
土井美和子 (東 芝)
仁田旦三 (明星大学)
野田正信 (関西電力)
林 洋一 (青山学院大学)
福田 隆 (関西電力)
藤本 孝
松浦昌則 (中部電力)
松瀬貢規 (明治大学)
松村年郎 (名古屋大学)
宮道壽一 (宇都宮大学)
八坂保弘 (日立製作所)
山田敏雄 (東京電力)
山本俊二 (三菱電機)

部門代表：石田 誠 (豊橋技術科学大学)

同 栗原雅幸 (電力計算センター)

杉山 進 (立命館大学)
玉井伸三 (東芝三菱電機産業システム)
原口芳徳 (ティー・オー・エス)
堀 洋一 (東京大学)

松木英敏 (東北大学)
安田恵一郎 (首都大学東京)
湯本雅恵 (東京都市大学)
支部代表：小豆畑茂 (日立製作所)
同 河崎善一郎 (大阪大学)
久和 進 (北陸電力)
熊谷 鋭 (中国電力)
菅原洋一 (住友電工ウインテック)
鈴置保雄 (名古屋大学)
田中孝明 (中部電気保安協会)
田村淳二 (北見工業大学)
中島康治 (東北大学)
永田 武 (広島工業大学)
平野敏彦 (九州電気保安協会)
福永博俊 (長崎大学)
藤井雅治 (愛媛大学)
藤原憲一郎 (高知工業高等専門学校)
本間利久 (北海道大学)
松木純也 (福井大学)

事業維持員代表：磯嶋茂樹 (住友電気工業)

同 江口直也 (富士電機)

大島 洋 (九州電力)

佐藤信利 (明電舎)

武部俊郎 (東京電力)

田苗 博 (東北電力)

土井義宏 (関西電力)

戸田克敏 (東 芝)

中田祐司 (日立製作所)

中谷義昭 (三菱電機)

松山 彰 (中部電力)

向山晋一 (古河電気工業)

役 員：生駒昌夫 (関西電力)

同 井上満夫 (三菱電機)

海田英俊 (富士電機)

大崎博之 (東京大学)

栗原郁夫 (電力中央研究所)

酒井祐之 (電気学会)

塩原亮一 (日立製作所)

竹内 昭 (中部電力)

中川聡子 (東京都市大学)

西田直人 (東 芝)

白銀隆之 (関西電力)

日高邦彦 (東京大学)

吉迫 徹 (九州電力)

3. 会議等に関する事項【定款第 4, 6 章】

会議・委員会等を以下のとおり開催する。

(1) 通常総会

平成 25 年 5 月 30 日 (木) に第 101 回通常総会を都市

センターホテルにて開催予定。

- (2) 理事会
年度内に6回開催予定。
- (3) 各種会議・委員会等
各会議体・委員会は必要に応じ開催し、主要会議等は下記の回数を予定する。

有識者会議：1回
経営戦略会議：適宜

- 総務企画関連
総務会議：5回
技術者教育委員会（部会等含む）：30回
広報委員会（HP関連委員会含む）：5回
会員サービス改善委員会：4回
IEEJ プロフェッショナル運営委員会：2回
倫理委員会：4回
表彰委員会：2回
顕彰委員会（小委員会含む）：8回

- 財務会計関連
会計会議：5回
- 編修出版関連
編修会議：4回
編修委員会（部会を含む）：27回
広告委員会：1回
出版事業委員会（部会を含む）：9回

- 研究調査関連
研究調査会議：4回
全国大会委員会（小委員会含む）：4回
国際活動委員会：4回
男女共同参画推進委員会：5回
電気規格調査会：6。に記載する。

- 部門関連
部門役員会
A部門：5回、B部門：5回、C部門：5回、
D部門：5回、E部門：4回

- 支部関連
支部報告会：各支部1回
支部役員会：適宜

4. 研究発表会・講演会・講習会および見学会の開催に関する事項【定款第4条1号】

- (1) 全国大会の充実
企画内容の充実とサービス向上をはかり講演者、聴講者の増加を目指す。
平成26年3月18日～20日 愛媛大学にて開催予定。
- (2) 一般社会向け公開シンポジウムの実施
社会ニーズに即したテーマを取り上げ、関連する委員会等との連携や社会に対する提言を行うなど、企画方法や支部と連携し各地で開催するなど開催方法も工夫しつ

つ企画実行していく。

- (3) 総合力を発揮した支部活動
本部・部門と連携しつつ地域に密着した活動を展開し、技術交流や技術研鑽の場の提供を通じ会員サービスに努め、あわせて会員増加を図る。また、これらの活動においてはIEEJプロフェッショナルの協力を得る。支部における講演会、講習会、見学会などの開催計画は下表のとおりである。

支部		北海道	東北	東京	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
支部連合大会等		1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
一般向け	講演会	1	0	23	1	6	17	1	0	1	50
	講習会	2	0	1	0	0	2	3	3	0	11
	見学会	1	1	14	3	1	2	0	0	1	23
専門家向け	講演会	8	30	3	8	1	1	12	10	10	83
	講習会	2	1	10	2	1	5	3	1	1	26
	見学会	1	0	13	2	0	1	3	3	1	24
発表会関係		1	1	10	2	2	1	1	1	1	20
その他		1	4	34	16	3	9	6	1	20	94
計		18	38	109	35	15	39	30	20	36	340

- (4) 総合力を発揮した部門活動
本部・支部と連携しつつ各部門の特徴を生かし、コア技術を生かしつつ、新規分野の取り込みや他部門他学協会との連携などの将来展開を考慮して活力ある活動を展開する。部門大会等の開催計画は次表のとおりである。

大会名	開催場所	開催日時
A部門大会	横浜国立大学（神奈川）	2013.9.12～13
B部門大会	新潟コンベンション朱鷺メッセ（新潟）	2013.8.27～29
C部門大会	北見工業大学（北海道）	2013.9.4～7
D部門大会	山口大学（山口）	2013.8.28～30
E部門大会（センサ・マイクロマシンとその応用システムシンポジウム）	仙台国際センター（宮城）	2013.11.5～7

5. 会誌および図書の発行に関する事項【定款第4条2号】

- (1) 電気学会誌・論文誌の更なる充実
学会誌は、広範囲な分野からわかりやすく読みやすい記事の企画などに取り組む。また、創立125周年記念大特集などの特別企画記事を掲載する。
論文誌の完全電子ジャーナル化のフォローを実施。また、電子投稿・査読システム全面改良後の運用をフォローする。
- (2) 世界に向けて情報発信する体制の構築
共通英文論文誌（TEEE）の掲載までの期間短縮とインパクトファクターの向上策の検討を行う。また、D部門英文論文誌の円滑な発行を継続していく。
- (3) 会誌の発行計画は以下のとおり。
 - (a) 学会誌
発行回数：12回
年間発行ページ数：1,036ページ（含広告）

発行部数：約 28 万 2 千部／年

掲載記事の企画は編修委員会で検討する。

(b) 論文誌（部門誌）

発行回数：12 回／部門

ページ数は以下のとおり。D 部門は英文論文誌 D（年 6 回発行）を含む。

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
ページ数	1,332	1,750	2,500	1,830	600	8,012

(c) 共通英文論文誌

発行回数：7 回（隔月発行および増刊号 1 回）

(4) 時代の動向や社会のニーズをとらえた出版推進

教科書の分量・内容・価格など教育現場に即した企画・出版を行い、採用増加を図る。また、電気広報特別委員会と連携した一般向け技術啓発書を刊行する。

教科書・専門書・啓発書で新刊 7 点の出版を目標とする。

(5) 教科書等の発行計画は以下のとおり。

(a) 教科書・専門書・技術啓発書

種別	教科書			技術啓発書			合計		
	新刊	重版	計	新刊	重版	計	新刊	重版	計
発行点数	6	30	36	1	0	1	7	30	37
発行部数	15,000	30,800	45,800	2,000	0	2,000	17,000	30,800	47,800

(b) 技術報告新刊

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
発行点数	12	10	0	18	0	40
発行部数	1,560	2,880	0	3,500	0	7,940

(c) JEC（委託出版）

発行点数：1

6. 調査・研究の実施に関する事項【定款第 4 条 3 号】

(1) 活動範囲の拡大

「スマートコミュニティ実現検討特別研究グループ」の活動を推進し、適宜シンポジウム開催など成果発表を行う。また、「電気システムセキュリティ特別技術委員会」の活動を軌道に乗せ、下部委員会を設置して具体的な活動を開始する。

(2) 災害に強い豊かな日本実現への貢献

電気技術を軸足に置き他学会との連携も強めながら、災害に強い豊かな日本の実現に向けた施策を検討する。

(3) 学術情報システムの円滑な運営と拡大

論文検索可能対象を研究会資料・大会論文にも拡大するため国立情報学研究所のシステム活用を開始する。

(4) 研究調査活動のための委員会活動は以下のとおり。

(a) 各種委員会

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
運営委員会	4	4	5	4	4	21
技術委員会	40	40	55	51	13	199
専門委員会	145	132	170	240	25	712
研究会	60	29	50	50	7	196
合計	249	205	280	345	49	1,128

(b) 新設委員会

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
技術委員会	0	0	0	0	0	0
専門委員会	8	6	25	18	3	60
合計	8	6	25	18	3	60

(c) 解散委員会

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
技術委員会	0	0	0	0	0	0
専門委員会	8	8	23	14	4	57
合計	8	8	23	14	4	57

(d) 研究会発表論文件数

部 門	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
件 数	1,100	610	650	800	120	3,280

7. 標準の制定に関する事項【定款第 4 条 3 号】

電気機械器具および材料などの標準化に関する事項を調査審議し、電気分野における標準化を通して、広く社会に貢献することを目的として、下記に重点を置き活動を推進する。

1. JEC 規格の制定・改正と普及
 2. IEC 規格に係わる審議
 3. JIS に係わる審議
 4. JEC 活動の運営改善と活性化の推進
 5. 国内外の標準化機関との協力および連携
- 具体的な計画に関しては下記を予定する。

(1) 委員会の開催数

会 議 名	開催数
規格委員総会	1
規格役員会	6
政策委員会	6
表彰委員会	1
IEC 国際活動支援審査委員会	4
部会	15
標準化委員会・IEC 国内委員会	234
JIS 原案作成委員会	10
合 計	277

(2) 標準規格の普及推進

HP 等による情報公開の推進、全国大会・部門大会等を活用した JEC 規格のシンポジウム開催等を継続実施していく。

(3) 国際標準規格の開発推進

国内外標準化機関との協力および連携をはかり、UHV 関連技術をはじめとし、日本発の規格の国際標準化提案活動を引き続き推進する。

8. 功績の表彰に関する事項【定款第 4 条 4 号】

(1) 電気技術顕彰制度「でんきの礎」の発展

「でんきの礎」の第 7 回顕彰をおこない、全国大会での授賞式の定着化をはかる。

- (2) 表彰
功績賞 1 件, 業績賞 6 件および電気学術振興賞 (進歩賞: 9 件, 論文賞: 9 件, 著作賞: 1 件), 優秀技術活動賞 (技術報告賞: 9 件, グループ著作賞: 1 件以内), 特別活動賞: 2 件以内の表彰を行う。
- (3) 学術振興助成
大会ならびに研究会における優秀論文の表彰
賞 A 部門大会・研究会の論文: 80 件
賞 B 全国大会・支部大会の論文: 120 件
- (4) 名誉員の推薦・フェローの充実
名誉員資格条件を満たす者を、名誉員として推薦する。
また、フェローの認定を継続し拡大を図る。
- (5) 学術奨励賞
高校・高専生の電気主任技術者試験合格者表彰制度の周知拡大を図り、第 3 回表彰を実施する。
- (6) 電気規格調査会表彰
標準化活動への貢献者の表彰を行う。

9. 教育に関する事項【定款第 4 条 5 号】

- (1) 技術者教育の着実な推進と体制の整備
「中核・中小企業向け電気技術者教育事業 (電気なっとく塾: 登録商標)」を出張教育型として日刊工業新聞社との安定した共同事業にするように方策を検討する。
CPD 認定技術者制度の定着と CPD 制度とリンクできる電気学会主導の資格制度がないかを模索する。
平成 25 年度の「電気学会寄付講義」を 15 校で開講する。
理科教育支援 WG による理科支援事業を支援する。
パワーエレクトロニクス技術者教育 WG を設置し、講習会を組織的に実施する。
- (2) JABEE 認定審査事業の着実な取り組み
3 分野において着実に認定審査を実施する。また、JABEE 審査員講習会を電気電子情報系分野の学会と共催で開催する。
- (3) IEEJ プロフェッショナルの拡大
IEEJ プロフェッショナルの活動範囲の拡大に対応して認定者の増大を図るとともに、活動に対する支援の強化を検討する。
- (4) 技術者倫理教育に関する恒常的活動の推進
技術者倫理研修会やフォーラムの開催、技術者倫理教材の整備など、技術者倫理教育に対する支援を行う。
- (5) 若年層の科学・技術離れへの対応
日本工学会の「科学技術人材育成コンソーシアム」に積極的に参画し、初等中等教育支援などの活動推進を図る。

10. 国内外の関係学術団体との協力および連携に関する事項【定款第 4 条 6 号】

- (1) 国際活動の積極的推進と国際活動が容易にできる仕組みの構築
ICEE (電気技術国際会議) 2013 厦門大会の開催と、ICEE 国際ジャーナルの的確な発行を行う。
英文 HP の充実と活用推進を図る。
国際的なステータス向上策の検討と海外学会等との連携方策の検討を行う。
- (2) 広範な学会活動の推進
電気・情報関連学会連絡協議会などの関連学会や、日本工学会、日本機械学会、日本技術士会、日本学術会議との定例懇談会など関係団体と定期的な協議の場を継続し、意見交換や諸活動の協調・連携を図る。
- (3) WECC2015 への積極的参画
日本学術会議・日本工学会が主催する世界工学会議 WECC2015 (2015.11 京都) へ企画段階から積極的に参画し、他学会との連携を進めながら、電気学会のプレゼンス向上を図り世界に向けて情報発信するとともに、日本の工学全体に貢献していく。
- (4) 国際交流助成
対 象 外国学会との交流で海外の研究者・技術者を招聘するための助成 (最大 10 件)
海外で開催される国際会議出席者に対する補助 (最大 20 件)
海外で開催される電力技術に関する国際的会合の出席者への補助 (最大 4 件)
助成総額 205 万円
- (5) 国際会議の主催
ISPSD'13 (第 25 回パワー半導体デバイス国際シンポジウム) (金沢) 2013.5.26 ~ 30
- (6) 学術団体の講演会等の共催・協賛・後援
- (7) 各種団体の研究助成候補者の推薦

11. その他法人運営に関する事項

- (1) 一般社団法人の的確な運営
平成 24 年 4 月 1 日一般社団法人へ移行後の新定款・細則等に基づき、法人運営を的確かつ円滑に行う。
公益目的支出計画の対象である事業を予算に基づき着実に実行する事で、公益目的支出計画を確実に実施する。
- (2) 創立 125 周年記念事業の実施
創立 125 周年記念事業委員会を中心に、各部門・支部の協力を得て、寄付金の募金、記念式典、記念出版、学会誌特集号の刊行、その他の記念事業を着実に実施する。
- (3) 電気学会の社会的責任 (SR) に関する検討
電気学会の持続的発展のため SR に関する検討を継続する。

(4) 広報の充実

広報委員会を中心とし、定期的なプレスリリースなどマスコミの活用を含めた効果的な広報活動を推進する。また、HPの構成を見直し充実をはかる。

(5) 社会への発信力の強化

電気学会諸活動の見える化を進め、将来の電力・エネルギーシステムに関する提言などをタイムリーに発信していく。

(6) キャンペーン月間「でんきの月」の発展

キャンペーン月間「でんきの月」に関する広報・啓発活動を活発に行い、引き続き第4回イベントを検討する。

(7) ITシステムの整備充実

多様な会員サービスにこたえられるWebサイトの立ち上げを検討する。平成24年度に導入した電子投票シ

ステムの実施結果をフォローし、整備・拡大を図る。

(8) シニアパワーの活躍

高齢化社会に対応しIEEJプロフェッショナルの拡大をはじめとし、シニア層にポイントを絞った事業の創出や会員減少対策などを検討する。

(9) 中長期ビジョンのマスタープランレビュー

7つの基本政策のレビューを行い、電気学会の今後の事業、活動のあり方を見直していく。

(10) 財務基盤の整備

財務体質健全化委員会により、今後想定される収支の悪化に対応した財務体質改善方策の検討を継続する。

事業全般にわたり無駄を省いたシンプルな運営を指向し資金の有効活用を図るとともに、より一層厳正的確な法人運営に万全を期すこととする。

平成 25 年度収支予算

収支予算書集約表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	一般会計	特別会計	支部会計	内部取引消去	合計
〔事業活動収支の部〕					
〔事業活動収入〕					
会費・入会金収入	253,957				253,957
事業収入	499,827	9,936	23,152		532,915
補助金等収入	21,070		2,280		23,350
雑収入	9,958		87	△ 480	9,565
他会計からの繰入金収入	5,198		25,418	△ 30,616	0
事業活動収入計	790,010	9,936	50,937	△ 31,096	819,787
〔事業活動支出〕					
事業費支出	599,976	4,419	38,154		642,549
管理費	214,422		17,316	△ 480	231,258
他会計への繰入金支出	25,099	5,517		△ 30,616	0
事業活動支出計	839,497	9,936	55,470	△ 31,096	873,807
事業活動収支差額	△ 49,487	0	△ 4,533	0	△ 54,020
〔投資活動収支の部〕					
〔投資活動収入〕					
特定資産取崩収入	47,146	1,514			48,660
他会計からの繰入金収入			1,514	△ 1,514	0
投資活動収入計	47,146	1,514	1,514	△ 1,514	48,660
〔投資活動支出〕					
特定資産取得支出	10,000				10,000
固定資産取得支出	1,300				1,300
他会計への繰入金支出		1,514		△ 1,514	0
投資活動支出計	11,300	1,514	0	△ 1,514	11,300
投資活動収支差額	35,846	0	1,514	0	37,360
〔予備費支出〕	500		76		576
当期収入合計	837,156	11,450	52,451	△ 32,610	868,447
当期支出合計	851,297	11,450	55,546	△ 32,610	885,683
当期収支差額	△ 14,141	0	△ 3,095	0	△ 17,236
前期繰越収支差額	102,294	1,045	42,427		145,766
次期繰越収支差額	88,153	1,045	39,332		128,530

収支予算書総括表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	一般会計	特別会計	支部会計	内部取引消去	合計
〔事業活動収支の部〕					
〔事業活動収入〕					
【会費・入金収入】	[253,957]	[0]	[0]	[0]	[253,957]
正員会費収入	164,147				164,147
准員会費収入	1,521				1,521
学生会員収入	7,999				7,999
入会金収入	790				790
事業維持員会費収入	79,500				79,500
【事業収入】	[499,827]	[9,936]	[23,152]	[0]	[532,915]
学会誌収入	29,781				29,781
論文誌収入	125,863				125,863
図書収入	144,899				144,899
全国大会収入	35,994				35,994
部門大会収入	48,315				48,315
研究調査収入	56,303		5,869		62,172
支部大会収入			2,731		2,731
連合大会収入			14,132		14,132
セミナー・シンポジウム収入	38,332		420		38,752
技術者教育事業収入	7,620				7,620
電気規格調査収入	12,720				12,720
賞金基金利息収入		371			371
桜井基金利息収入		861			861
国際交流基金利息収入		1,580			1,580
学術振興基金利息収入		6,191			6,191
支部会計基金利息収入		343			343
公開シンポジウム基金利息収入		590			590
【補助金等収入】	[21,070]	[0]	[2,280]	[0]	[23,350]
補助金等収入	21,070		2,280		23,350
【雑収入】	[9,958]	[0]	[87]	[△ 480]	[9,565]
受取利息収入	20		7		27
その他収入	9,938		80	△ 480	9,538
【他会計からの繰入金収入】	[5,198]	[0]	[25,418]	[△ 30,616]	[0]
一般会計からの繰入金収入			25,099	△ 25,099	0
特別会計からの繰入金収入	5,198		319	△ 5,517	0
事業活動収入計	790,010	9,936	50,937	△ 31,096	819,787
〔事業活動支出〕					
【事業費支出】	[599,976]	[4,419]	[38,154]	[0]	[642,549]
学会誌出版費	87,968				87,968
論文誌出版費	84,774				84,774
図書出版費	118,536				118,536
全国大会費	33,077				33,077
部門大会費	49,239				49,239
研究調査委員会費	68,850		11,590		80,440
支部大会費			3,986		3,986
連合大会費			16,489		16,489
セミナー・シンポジウム費	58,009		4,658		62,667
技術者教育事業費	34,247				34,247
電気規格調査費	31,759				31,759
部門費	16,213				16,213
部門活性化費	2,000				2,000
賞金費	15,304		1,431		16,735
賞金基金支出		71			71
桜井基金(海外派遣)補助支出		1,344			1,344
国際会議交流補助支出		1,097			1,097
学術振興表彰等助成支出		1,765			1,765
支部会計基金支出		24			24
公開シンポジウム基金支出		118			118
【管理費支出】	[214,422]	[0]	[17,316]	[△ 480]	[231,258]
人件費	74,993				74,993
事務費	89,869		17,316	△ 480	106,705
事務所費	49,560				49,560
【他会計への繰入金支出】	[25,099]	[5,517]	[0]	[△ 30,616]	[0]
一般会計への繰入金支出		5,198		△ 5,198	0
支部会計への繰入金支出	25,099	319		△ 25,418	0
事業活動支出計	839,497	9,936	55,470	△ 31,096	873,807
事業活動収支差額	△ 49,487	0	△ 4,533	0	△ 54,020
〔投資活動収支の部〕					
〔投資活動収入〕					
【特定資産取崩収入】	[47,146]	[1,514]	[0]	[0]	[48,660]
特定資産取崩収入	47,146	1,514			48,660
【他会計からの繰入金収入】	[0]	[0]	[1,514]	[△ 1,514]	[0]
特別会計からの繰入金収入			1,514	△ 1,514	0
投資活動収入計	47,146	1,514	1,514	△ 1,514	48,660
〔投資活動支出〕					
【特定資産取得支出】	[10,000]	[0]	[0]	[0]	[10,000]
特定資産取得支出	10,000				10,000
【固定資産取得支出】	[1,300]	[0]	[0]	[0]	[1,300]
固定資産取得支出	1,300				1,300
【他会計への繰入金支出】	[0]	[1,514]	[0]	[△ 1,514]	[0]
支部会計への繰入金支出		1,514		△ 1,514	0
投資活動支出計	11,300	1,514	0	△ 1,514	11,300
投資活動収支差額	35,846	0	1,514	0	37,360
〔予備費支出〕	500		76		576
当期収支差額	△ 14,141	0	△ 3,095	0	△ 17,236
前期繰越収支差額	102,294	1,045	42,427		145,766
次期繰越収支差額	88,153	1,045	39,332		128,530

一般会計 収支予算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
〔事業活動収支の部〕				
〔事業活動収入〕				
【会費・入会金収入】	[253,957]	[271,940]	[△ 17,983]	
正員会費収入	164,147	169,209	△ 5,062	
准員会費収入	1,521	1,495	26	
学生会員収入	7,999	8,596	△ 597	
入会金収入	790	810	△ 20	
事業維持員会費収入	79,500	91,830	△ 12,330	
【事業収入】	[499,827]	[515,348]	[△ 15,521]	
学会誌収入	29,781	29,442	339	
論文誌収入	125,863	124,994	869	
図書収入	144,899	110,150	34,749	
全国大会収入	35,994	37,529	△ 1,535	
部門大会収入	48,315	49,975	△ 1,660	
研究調査収入	56,303	57,876	△ 1,573	
セミナー・シンポジウム収入	38,332	77,635	△ 39,303	
技術者教育事業収入	7,620	15,027	△ 7,407	
電気規格調査収入	12,720	12,720	0	
【補助金等収入】	[21,070]	[18,620]	[2,450]	
補助金等収入	21,070	18,620	2,450	
【雑収入】	[9,958]	[10,722]	[△ 764]	
受取利息収入	20	60	△ 40	
その他収入	9,938	10,662	△ 724	
【他会計からの繰入金収入】	[5,198]	[5,806]	[△ 608]	
特別会計からの繰入金収入	5,198	5,326	△ 128	
支部会計からの繰入金収入	0	480	△ 480	
事業活動収入計	790,010	822,436	△ 32,426	
〔事業活動支出〕				
【事業費支出】	[599,976]	[630,129]	[△ 30,153]	
学会誌出版費	87,968	87,912	56	
論文誌出版費	84,774	89,980	△ 5,206	
図書出版費	118,536	87,844	30,692	
全国大会費	33,077	37,888	△ 4,811	
部門大会費	49,239	51,737	△ 2,498	
研究調査委員会費	68,850	75,636	△ 6,786	
セミナー・シンポジウム費	58,009	97,335	△ 39,326	
技術者教育事業費	34,247	27,804	6,443	
電気規格調査費	31,759	33,334	△ 1,575	
部門費	16,213	16,756	△ 543	
部門活性化費	2,000	8,302	△ 6,302	
賞金費	15,304	15,601	△ 297	
【管理費支出】	[214,422]	[172,375]	[42,047]	
人件費	74,993	62,734	12,259	
事務費	89,869	59,941	29,928	
事務所費	49,560	49,700	△ 140	
【他会計への繰入金支出】	[25,099]	[25,226]	[△ 127]	
支部会計への繰入金支出	25,099	25,226	△ 127	
事業活動支出計	839,497	827,730	11,767	
事業活動収支差額	△ 49,487	△ 5,294	△ 44,193	
〔投資活動収支の部〕				
〔投資活動収入〕				
【特定資産取崩収入】	[47,146]	[27,813]	[19,333]	
特定資産取崩収入	47,146	27,813	19,333	
【他会計からの繰入金収入】	[0]	[180,000]	[△ 180,000]	
特別会計からの繰入金収入	0	180,000	△ 180,000	
投資活動収入計	47,146	207,813	△ 160,667	
〔投資活動支出〕				
【特定資産取得支出】	[10,000]	[8,300]	[1,700]	
特定資産取得支出	10,000	8,300	1,700	
【固定資産取得支出】	[1,300]	[16,000]	[△ 14,700]	
固定資産取得支出	1,300	16,000	△ 14,700	
投資活動支出計	11,300	24,300	△ 13,000	
投資活動収支差額	35,846	183,513	△ 147,667	
〔予備費支出〕	500	2,000	△ 1,500	
当期収支差額	△ 14,141	176,219	△ 190,360	
前期繰越収支差額	102,294	△ 76,940	179,234	
次期繰越収支差額	88,153	99,279	△ 11,126	

特別会計 収支予算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
〔事業活動収支の部〕				
〔事業活動収入〕				
【事業収入】	〔 9,936〕	〔 11,499〕	〔 Δ 1,563〕	
賞金基金利息収入	371	340	31	
桜井基金利息収入	861	1,015	Δ 154	
国際交流基金利息収入	1,580	1,424	156	
学術振興基金利息収入	6,191	7,293	Δ 1,102	
支部会計基金利息収入	343	837	Δ 494	
公開シンポジウム基金利息収入	590	590	0	
事業活動収入計	9,936	11,499	Δ 1,563	
〔事業活動支出〕				
【事業費支出】	〔 4,419〕	〔 5,504〕	〔 Δ 1,085〕	
賞金基金支出	71	74	Δ 3	
桜井基金(海外派遣)補助支出	1,344	1,015	329	
国際会議交流補助支出	1,097	1,424	Δ 327	
学術振興表彰等助成支出	1,765	2,705	Δ 940	
支部会計基金支出	24	168	Δ 144	
公開シンポジウム基金支出	118	118	0	
【他会計への繰入金支出】	〔 5,517〕	〔 5,995〕	〔 Δ 478〕	
一般会計への繰入金支出	5,198	5,326	Δ 128	
支部会計への繰入金支出	319	669	Δ 350	
事業活動支出計	9,936	11,499	Δ 1,563	
事業活動収支差額	0	0	0	
〔投資活動収支の部〕				
〔投資活動収入〕				
【特定資産取崩収入】	〔 1,514〕	〔 181,600〕	〔 Δ 180,086〕	
特定資産取崩収入	1,514	181,600	Δ 180,086	
投資活動収入計	1,514	181,600	Δ 180,086	
〔投資活動支出〕				
【他会計への繰入金支出】	〔 1,514〕	〔 181,600〕	〔 Δ 180,086〕	
一般会計への繰入金支出		180,000	Δ 180,000	
支部会計への繰入金支出	1,514	1,600	Δ 86	
投資活動支出計	1,514	181,600	Δ 180,086	
投資活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	1,045	3,576	Δ 2,531	
次期繰越収支差額	1,045	3,576	Δ 2,531	

支部予算合計表

(平成25年4月1日より平成26年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	全支部合計		支部別予算									
	予算額	前年度予算額	増減	北海道	東北	東京	北陸	東海	関西	中国	四国	九州
【事業活動収支の部】												
【事業活動収入】	23,152	11,407	11,745	420	150	4,761	80	2,700	8,680	589	255	5,517
研究調査収入	5,869	5,668	201	70	150	2,030	60	700	1,980	589	30	260
支部大会収入	2,731	2,619	112	0	0	2,731	0	0	0	0	0	0
連合大会収入	14,132	2,600	11,532	350	0	0	0	2,000	6,300	0	225	5,257
セミナー・ワークショップ収入	420	520	△ 100	0	0	0	20	0	400	0	0	0
【補助金等収入】	2,280	2,280	0	0	0	1,330	0	950	0	0	0	0
補助金等収入	2,280	2,280	0	0	0	1,330	0	950	0	0	0	0
【雑収入】	87	87	0	1	0	4	80	0	1	1	0	0
受取利息	7	7	0	1	0	4	0	0	1	1	0	0
その他収入	80	80	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0
【他会計からの繰入金収入】	25,418	25,895	△ 477	1,381	1,724	4,718	1,514	4,623	5,155	2,088	1,426	2,789
一般会計からの繰入金収入	25,099	25,226	△ 127	1,381	1,724	4,718	1,514	4,623	5,155	1,769	1,426	2,789
特別会計からの繰入金収入	319	669	△ 350	0	0	0	0	0	0	319	0	0
事業活動収入計	50,937	39,669	11,268	1,802	1,874	10,813	1,674	8,273	13,836	2,678	1,681	8,306
【事業活動支出】	38,154	26,945	11,209	1,183	1,626	9,657	1,200	5,000	9,540	2,021	1,150	6,777
研究調査費	11,590	11,469	121	698	1,310	3,173	490	1,200	2,140	1,709	500	370
支部大会費	3,986	3,992	△ 6	0	0	3,986	0	0	0	0	0	0
連合大会費	16,489	4,975	11,514	400	130	0	180	2,500	6,800	222	450	5,807
セミナー・ワークショップ費	4,658	4,948	△ 290	0	90	1,968	480	1,100	550	20	100	350
賞金・表彰費	1,431	1,561	△ 130	85	96	530	50	200	50	70	100	250
【管理費】	17,316	16,893	423	877	660	1,991	474	3,273	5,810	1,326	1,376	1,529
事務費	17,316	16,893	423	877	660	1,991	474	3,273	5,810	1,326	1,376	1,529
【他会計への繰入金支出】	0	480	△ 480	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般会計への繰入金支出	0	480	△ 480	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計	55,470	44,318	11,152	2,060	2,286	11,648	1,674	8,273	15,350	3,347	2,526	8,306
事業活動収支差額	△ 4,533	△ 4,649	116	△ 258	△ 412	△ 835	0	0	△ 1,514	△ 669	△ 845	0
【投資活動収支の部】												
【投資活動収入】	1,514	1,600	△ 86	0	0	0	0	0	1,514	0	0	0
特別会計からの繰入金収入	1,514	1,600	△ 86	0	0	0	0	0	1,514	0	0	0
投資活動収入計	1,514	1,600	△ 86	0	0	0	0	0	1,514	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	1,514	1,600	△ 86	0	0	0	0	0	1,514	0	0	0
【予備費支出】	76	137	△ 61	0	0	76	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	△ 3,095	△ 3,186	91	△ 258	△ 412	△ 911	0	0	0	△ 669	△ 845	0
【注】前期繰越収支差額	42,427	42,816	△ 389	1,606	3,117	13,696	1,040	5,217	4,001	6,195	2,842	4,714
【注】次期繰越収支差額	39,332	39,630	△ 298	1,348	2,705	12,785	1,040	5,217	4,001	5,526	1,997	4,714

(注) 前期繰越収支差額は支部ごとに千円未満を四捨五入しているため、前期繰越収支差額および次期繰越収支差額は、支部ごとに加算した数値と全支部合計の数値では異なる場合がある。

- ・第101回通常総会にて配付の「平成25年度事業計画」に記載の誤りがございました。お詫び申し上げます。
以下により該当箇所を示しますと共に、前掲の平成25年度事業計画において訂正いたしております。

(P.49平成25年度支部役員 東京支部)

正：協議員： 秋津哲也（山梨大学）